

設立趣意書

私たちは、映像を基軸とした海外との文化交流を促進し、相互の国の文化を尊重し合える社会を構築し、映像業界の次世代を担う人材育成に繋がる事業を行い、また映像を用いた魅了あるまちづくりに寄与し、地域を活性化させ、町と映像文化の健全な発展に資することを目的とし、2016年1月より「門真フィルムコミッション」を設立し、門真市内、大阪府内のみならず、70%以上が70歳以上という瀬戸内海に浮かぶ高齢者の島、関前諸島岡村島などで、上映会や「関前諸島岡村島映画祭」を開催するなど、地域社会と良好な関係を構築し、地域コミュニティの再生など、地域社会の課題解決や、持続的発展に寄与する活動に取り組んできました。

映画をコミュニケーションのツールとして活用し、地域住民や住民組織との交流活動を進める中で、信頼とお互いの立場を尊重することの大切さを学び、そして、これまでの活動から、ここに行けば誰かに出会える、あたたかな笑顔にあふれているといった高齢者から乳幼児まで地域の人が集まりふれあう中で自然に助け合う交流の場の重要性と、相互理解をもって人と人との繋がりを大切にすることを重視してきました。

現代社会では世代間交流の希薄さと、それに伴う地域防災の脆弱性が問題となっています。しかしながらこの問題は、共通言語として映画をコミュニケーションツールにすることで尠からず解決すると強く確信します。10代の若者と70代、80代といった高齢者が「ローマの休日」について語らう。それこそが時代に左右されない芸術文化を通じた社会貢献の在り方だと考えます。そこで私たちは、世代間交流の促進を目的として、映画祭や上映会、映画撮影などの事業を行い、地域の活性化に寄与することを目指し、また自然災害等による被災住民に対しての緊急支援態勢を整えるために、私たちは「特定非営利活動法人」としての認証を取得し、社会的責任とより一層の内容の充実を図ることを決意致しました。

映画を用いて社会を明るくすることは映画や映像文化への振興にも繋がります。そしてそのことが新たな映画の創出や、映像業界の次世代を担う人材育成に繋がり、それらがまた人々の心や社会を明るくし、地域の活性化へと帰着します。

映画と地域振興の循環。

映画は世代間のみならず世界共通の言語とも言えます。地域発の国際映画祭樹立を悲願とし、それによる地域振興を力強く推進するために、海外および日本国内での社会的認知を高めるためには、特定非営利活動法人への法人化が最適と熟慮し、私たちは、ここに特定非営利活動法人 門真フィルムコミッションを設立します。この活動を広めるために多くの方の参加を呼びかけます。

2017年1月8日

法人の名称 特定非営利活動法人 門真フィルムコミッション

設立代表者 奈須 崇